

# 東北学院大学 川内村第七行政区(東山)

---

東北学院大学金子研究室川内村プロジェクト

# 1.地区の概要と取り組むべき課題

- ・川内村第七行政区（東山）

2011年3月11日 東日本大震災

2011年4月 警戒区域・緊急時避難準備区域指定（2012年3月まで）

2012年2月 帰村宣言

2012年4月 避難指示解除準備区域指定（2016年6月まで）

2016年6月 避難指示解除

→半数以上の人びとが帰村したが、過疎高齢化が進んでいる。

- ・2年目（2022年）：現地での石塔調査、聞き取り調査、横田さんからお借りした文書のクリーニング。
- ・明らかにになった課題：史料調査では、内容のさらなる解読を進めること。この地域にどのような歴史的文化があったのか、神仏が祀られていたのかを明らかにしていく事。

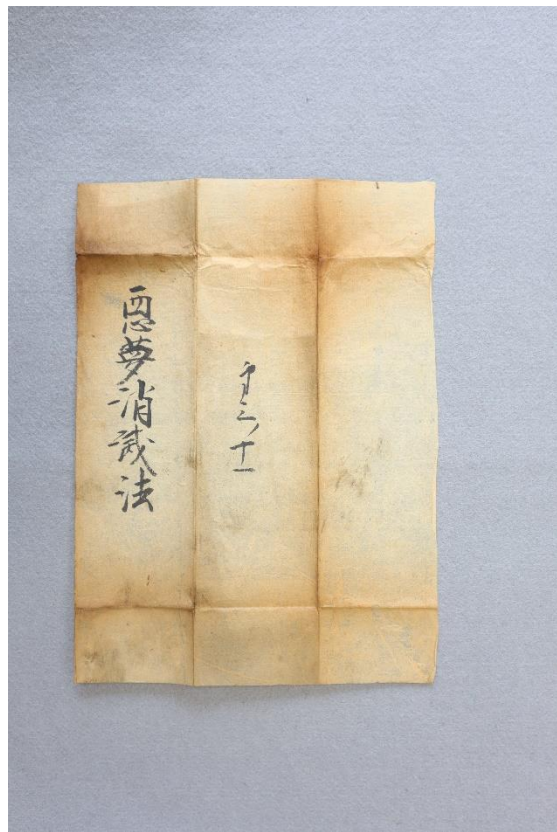
## 2.今年度実施した取組みの内容

### 史料整理・史料解読

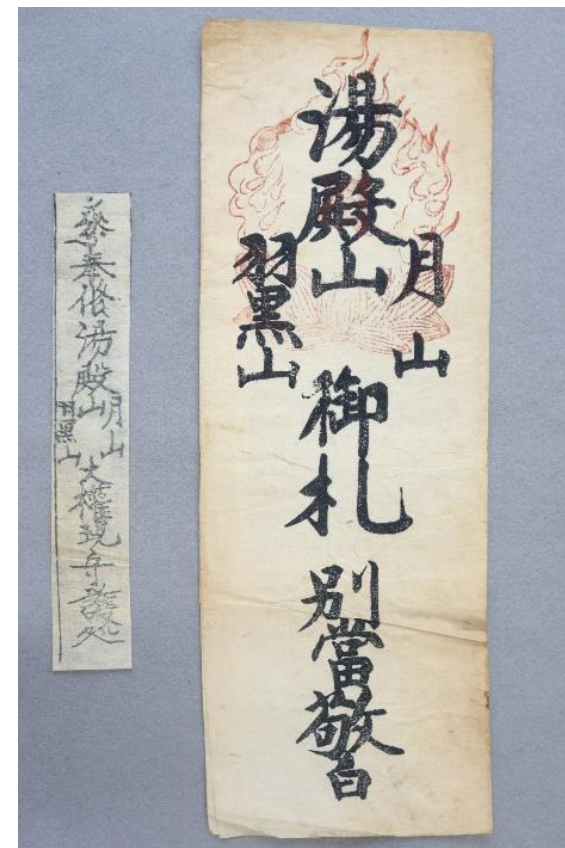
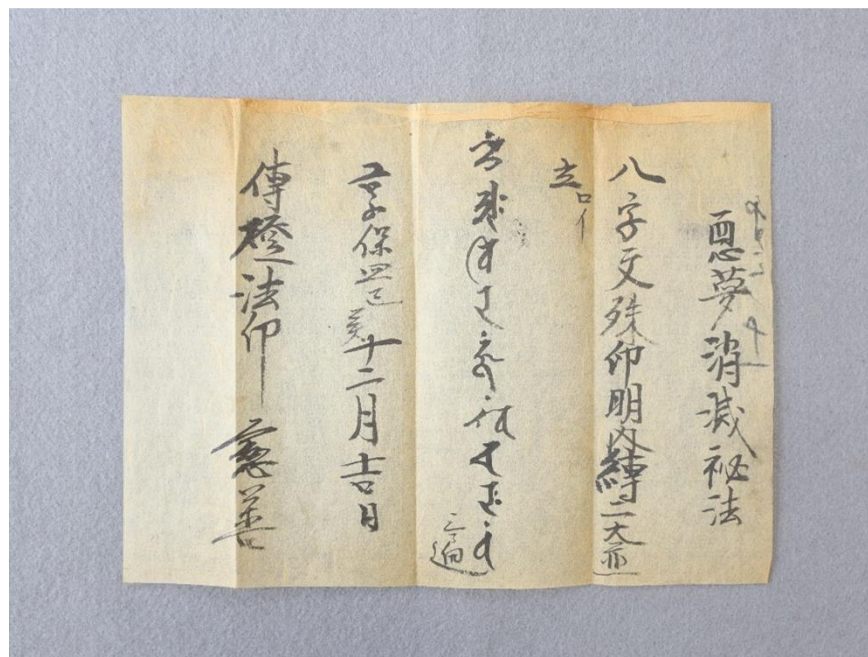


## 2.今年度実施した取組みの内容

### 史料整理・史料解読



切紙



御札



## 2.今年度実施した取組みの内容

### 現地調査・現地報告会





# 2.今年度実施した取組みの内容

## 史料集作成・大学博物館のパネル作成

### 禁

### 修験の残した切紙と呪符③

## 呪符と御札

### 《特色ある御札》

横田家文書にもっとも多く残されていた高湯山札は、非常に珍しいものです。高湯山とは、福島・栃木県境にある那須岳を信仰対象とするものでした。那須岳には、白湯山・高湯山という出羽三山を模したとされる霊場が開かれました。

この高湯山の信仰圏は、現在確認されている範囲では、北限を福島県郡山市付近、南限を栃木県大田原市付近とする那須岳の周囲 60km ほどしかありませんでした。極めて狭い範囲で信仰されたもので、神仏分離などの宗教政策により、修験寺院は廃寺となってしまいました。関連資料は少なく、北限に当たる川内村で、これほどまとまった御札が見つかったのは貴重な発見です。



地蔵院御守



湯殿山札



高湯山札



伊勢神宮大麻

### 《地蔵院以外の寺社の所在地》

御札の種類	点数	現在の所在地
高湯山札	57	観音寺・月山寺(ともに廃寺)：栃木県那須郡那須町湯本
湯殿山札 (出羽三山札を含む)	24	湯殿山神社：山形県鶴岡市羽黒町手向手向
伊勢神宮大麻札	5	伊勢神宮：三重県伊勢市宇治館町
御岩山守護	1	御岩神社：茨城県日立市入四間町
松高山文殊菩薩御影	1	松高山大聖寺(亀岡文殊)：山形県東置賜郡高畠町亀岡
待定法師符	1	松高山大聖寺
巴陵院空海御影	1	和歌山県伊都郡高野町高野山
成田山不動明王御影	1	千葉県成田市成田

他寺社で発行されたと考えられる御札類のうち、発行主体が明確なものは上記のように整理できます。このうち湯殿山は地蔵院が山行にかかわる紐を取り集めていた記録が、伊勢神宮に関しては永代太々神楽に関する証文が残されています。地蔵院がこれらの寺社にかかわる活動を行っていたことは間違いありません。



『待定法師忍行念仏伝』より、過酷な行の様子  
 左：頭上や家中で燈明を灯しながら念仏をとえたる頭灯掌灯供養  
 右：極寒の巖上川で七日間念仏をとえたる寒中七日投河供養

待定法師符

待定法師にかかわる護符が確認できたのも貴重な発見です。待定は出羽国の人で、念仏行者となりました。彼は「忍行」と名づけられるほど厳しい行を行ない、山形・宮城・福島を巡りました。蠟燭を頭上や掌にのせて行う頭灯掌灯供養、指を燃やす指灯供養、身体の一部を燃やす焼身供養など信じがたいような苦行でした。待定法師は、享保十六(一七三一年)、山形県高畠町にある松高山大聖寺に入定し、即身仏となりました。

今回、見つかった護符には、元文三(一七三八年)の年号が記され、入定後東北各地で頭影や布教が進められていたことを物語っています。

### 呪



### 3.まとめ

#### ○切紙

- ・今回発見された切紙は秘法の伝授に関わるものであった。特に、庶民の悩みを解決するためのものが多くみられた

#### ○御札

- ・高湯山や伊勢神宮に関連する珍しい御札が見つかった。これらは江戸時代中期の史料で、切紙とほぼ同時期のものと推定される

⇒これらは福島県内で見つかった修験史料と比較しても、古い時期のもので、質量ともに充実した貴重な史料といえる

## 4. 今後に向けて

### ○モノ資料に関する補充調査

- ・石塔・棟札については、全体の半数ほどの調査が済んでいるものの、まだ全容の解明ができていない。  
今後とも補充調査を続けていきたい。

### ○これまで把握してきた歴史資料に基づいた企画展示

- ・東北学院大学博物館、川内村と連携し、これまで活動を通じて、見出してきた貴重な資料をもとにした地域文化の展示を行なっていきたい。